

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	旧渡辺家住宅管理事業			コード	112202
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（美術考古館）	作成者 守住 由美子
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	文化財の保護・活用
		予算科目	旧渡辺家住宅管理事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	文化財保護法、旧渡辺家住宅		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	江戸時代中期に建てられた下級武士の住宅		
目的	対象者	市民及び観光客	
	意 図	江戸時代の建物を見学しながら当時の下級武士の生活を学ぶ	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	なし	30年度指定管理料	円
施設における 通常業務	<ul style="list-style-type: none"> 入館料の徴収及び館内案内 館内清掃及び敷地内の草取り等 		
事業の実施内容	<p style="color: red;">(30年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> 4/24～5/19 5月人形の展示 5/5 子どもの日無料公開 11/3 文化の日無料公開		
前年度の課題 への対応	5月の子どもの日に合わせ5月人形の展示や、11月の文化の日にあわせ無料公開を行い、周知に努めた。		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力) *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	-	-	-	-
年間開設日数(日)	138	138	137	141
1日の開設時間(時間)				
年間利用可能時間(時間)	0	0	0	0
年間利用実績(時間)				
② 年間利用者数(人)	290	411	308	225
有料利用者数	181	133	90	225
無料利用者数	45	115	1	
減免措置者数	64	163	217	
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	2.1	3.0	2.2	1.6
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	626,106	630,429	667,660	709,000
経常経費	626,106	630,429	667,660	709,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
正規職員の人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25
③ 合計コスト(①+②)	2,626,106	2,630,429	2,667,660	2,709,000
前年度比		100.2%	101.4%	101.5%
財源内訳				
一般財源	2,589,156	2,587,489	2,643,790	2,628,000
特定財源	36,950	42,940	23,870	81,000
* 特定財源の説明	入館料及び使用料			
④ 施設使用料年間収入額	36,950	42,940	23,870	81,000
⑤ 年間減免措置額	19,840	48,360	48,360	67,270
⑥ 受益者負担割合	9.1%	14.5%	10.8%	20.9%
⑦ 活動一単位あたりコスト	9,056	6,400	8,661	
前年度比		70.7%	135.3%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 75.5%	0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 55.6%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	子どもから大人まで幅広い世代への周知が課題となっている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	小中学校の授業での見学やNPO法人郷土学習館と協力し年間を通してのイベント実施などにより周知に努める。	
改善開始時期	平成31年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	112202	旧渡辺家住宅管理事業
-----	--------	------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	1,580		1,580	
賃金	360,275		360,275	
需用費	41,530		41,530	
役務費	11,715		11,715	
委託料	250,560		250,560	
負担金	2,000		2,000	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	667,660	0	667,660	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.25		0.25人
合計	2,000,000	0	2,000,000円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
入館料及び使用料	23,870		23,870	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	23,870	0	23,870	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	2,643,790	0	2,643,790

施設の運営コスト計算シート

事業名	112202	旧渡辺家住宅管理事業
-----	--------	------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0